

学修概要

歯科補綴治療としてのクラウン・ブリッジ，部分床義歯および全部床義歯などの製作までの臨床ステップや破損，不適合時の補修の方法を理解し，その際に使用する器具，材料について学ぶ。それらの治療から，歯科衛生士が行う診療補助や補綴装置の清掃，取扱いなどの患者に対する指導について学ぶ。

- 教科書：最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴（医歯薬出版）
- 参考書：歯科補綴学と診療補助（クインテッセンス出版）
歯科補綴マニュアル（南山堂）
- 授業時間：水曜日 9：00～10：50
- オフィスアワー：萩原 芳幸 (hagiwara.yoshiyuki@nihon-u.ac.jp)
月曜日 17：00～18：00 補綴Ⅲ講座医局
大谷 賢二 (ootani.kenji@nihon-u.ac.jp)
水曜日 17：00～18：50 補綴Ⅱ講座医局
伊藤 智加 (itou.tomoka@nihon-u.ac.jp)
月曜日 17：00～18：50 補綴Ⅰ講座医局
- 授業の方法：教科書の内容を中心に，プロジェクターを利用した講義形式で進める。毎回，演習・レポートを実施する
- 準備学習・
準備学習時間：書の内容の該当箇所を一読し，不明な専門用語は事前に調べ，質問事項を整理し，授業に臨むこと。また，授業で行った演習課題を見直すこと。
- 成績評価：平常試験（10%），定期試験（90%）を総合して評価する。
- 注意事項：早朝の講義であるが，15分前には教室に入れるぐらいのゆとりを持って登校すること。
- 実務経験：萩原芳幸：現在，日本大学歯学部歯科補綴学第Ⅲ講座に在籍しており，特に歯冠補綴とインプラント治療の経験を基に本教科で学ぶ内容の理論がいかに実際に活かされるかについて学ぶ場を提供したいと考えている。
大谷賢二：現在，日本大学歯学部歯科補綴学第Ⅱ講座に在籍しており，部分床義歯の治療の経験を基に本教科で学ぶ内容の理論と実際について学ぶ場を提供したいと考えている。
伊藤智加：現在，日本大学歯学部歯科補綴学第Ⅰ講座に在籍しており，全部床義歯の治療の経験を基に本教科で学ぶ内容の理論と実際について学ぶ場を提供したいと考えている。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第1回 4月10日 萩原 芳幸	歯科補綴学総論 1 1) 意義と目的 2) 補綴装置の種類と適応 3) 診療の補助 4) 歯科技工との関連 歯科補綴治療の基礎知識 1) 歯列の形態と位置的関係 2) 顎口腔系の機能	<ul style="list-style-type: none"> • 補綴治療の特徴を学ぶ。 • クラウン・ブリッジ，部分床義歯，全部床義歯インプラントの分類と適応について学ぶ。 • 直接行為と補助行為について学ぶ。 • 技工との関連を学び，治療前，治療中，治療後の患者に対しての指導について学ぶ。 • 天然歯列の特徴，咬合彎曲，基準平面，対合関係などについて，また歯の喪失後の顎堤（歯槽部）に起こる変化と隣在歯，対合歯への影響について理解する。 • 顎口腔系の基本機能に関する知識とこれらの機能時の歯や歯周組織の役割を理解する。
第2回 4月17日 萩原 芳幸	1. クラウン 1) クラウンの分類 (1) 前歯部のクラウン (2) 臼歯部のクラウン 2) 臨床のステップ (1) 診査，診断 (研究用模型の製作)	<ul style="list-style-type: none"> • 前歯部と臼歯部の機能，目的の相異による補綴装置の種類，材質とその変化などについて学ぶ。 • クラウンが製作されるまでの一連の治療操作の流れを理解し，それぞれの診療時の基本的な診療補助について学ぶ。
第3回 4月24日 萩原 芳幸	(2) 前処置（支台築造） (3) 支台歯形成 (4) 歯肉圧排と印象採得 (5) テンポラリークラウンの装着 (6) クラウン製作（技工操作） (7) セメント合着 3) 患者指導	<ul style="list-style-type: none"> • クラウンが製作されるまでの一連の治療操作の流れを理解し，それぞれの診療時の基本的な診療補助について学ぶ。 • テンポラリークラウンの製作，目的を学ぶ。 • 咬合採得，フェースボウトランスファーについて学ぶ。 • セメント合着時の使用セメントについて学ぶ。 • クラウン周辺の歯肉への影響と清掃法について学ぶ。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第4回5月8日 萩原 芳幸	2. ブリッジ 1)ブリッジの構成と材料 2)臨床ステップ (1)診査・診断・前処置 (2)支台歯形成 (3)印象採得 (4)咬合採得	<ul style="list-style-type: none"> • 支台装置の種類と材料およびポイントの形態の相違について学ぶ。 • ブリッジの適応性，クラウン（単冠）と異なる支台歯形成の注意点を理解し，診療補助の方法を学ぶ。 • 各個トレーと既製トレーによる印象法の相違について学ぶ。
第5回5月15日 萩原 芳幸	(5)技工操作 (6)試適 (7)ブリッジの完成 (8)セメント合着 3)患者指導 3. インプラント インプラント治療の実際を通して	<ul style="list-style-type: none"> • ブリッジのシェードセレクション（色調選択）について学ぶ。 • 鋳造，ろう着等技工全般について理解する。 • 装着後の注意，口腔清掃の指導について学ぶ。 • インプラント治療の実際を通して，インプラント治療の基本術式を学ぶ。 • インプラント補綴の種類を学ぶ。 • インプラントに関する口腔清掃指導について学ぶ。
第6回5月29日 大谷 賢二	歯科補綴学総論2 ・歯の欠損に伴う障害と補綴治療 ・顎運動関連	<ul style="list-style-type: none"> • 歯の欠損に伴う口腔内の変化，身体的障害，心理的障害，社会的影響。 • 補綴歯科治療に伴う合併症 • 下顎の運動様相について学ぶ。 • 下顎限界運動について学ぶ。 • 咬合様式について学ぶ。
第7回6月5日 大谷 賢二	部分床義歯学特徴と構造 部分床義歯治療の実際 (1)診査・診断	<ul style="list-style-type: none"> • 部分床義歯の特徴を学ぶ。 • 部分床義歯の種類について学ぶ。 • 部分床義歯の構造について学ぶ。 • 部分床義歯治療における各種検査について学ぶ。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第8回 6月12日 大谷 賢二	部分床義歯治療の実際 (2)前処置 (3)印象採得 (4)咬合採得	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部分床義歯の前処置について学ぶ。 ・ 部分床義歯の印象採得の理論的背景，方法について学ぶ。 ・ 部分床義歯の咬合採得の方法について学ぶ。
第9回 6月19日 大谷 賢二	部分床義歯治療の実際 (5)試適 (6)装着 (7)メンテナンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 試適時の確認事項について学ぶ。 ・ 義歯装着時の方法および患者指導について学ぶ。 ・ メンテナンス時の確認事項および患者指導について学ぶ。
第10回 6月26日 大谷 賢二	部分床義歯治療と患者指導 顎顔面補綴治療の実際	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部分床義歯治療の各ステージにおける指導項目について理解を深める。 ・ 顎顔面補綴装置の種類について学ぶ。 ・ 顎顔面補綴治療の実際について学ぶ。
第11回 7月3日 伊藤 智加	無歯顎者に対する補綴装置 ・ 義歯装着の目的 ・ 無歯顎者の診査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無歯顎者が装着する人工臓器である。 ・ 総義歯の目的別分類（最終義歯，暫間義歯）。 ・ 構成要素（人工歯，義歯床） ・ 総義歯を装着することの意義を学ぶ。 ・ 歯の喪失に伴う顔貌，顎堤形態，歯槽骨および感覚の変化について学ぶ。 ・ 無歯顎堤の特徴的な解剖学的ランドマークを学ぶ。 ・ 全身疾患から局所的診査に至る経過を学ぶ。
第12回 7月10日 伊藤 智加	・ 総義歯の維持，安定，支持 総義歯補綴治療の実際	<ul style="list-style-type: none"> ・ 維持機構を物理的維持と解剖学的維持に分類して学ぶ。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
	1. 前処置 2. 印象採得 1) 印象法の種類と材料 2) 概形印象 3) 研究用模型 4) 個人トレー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総義歯補綴治療による機能回復度を高めるために重要な前処置について学ぶ。 ・ 印象法の種類と材料の特徴を学ぶ。 ・ 概形印象採得によって得られた印象で研究用模型を作製し、さらに研究用模型による診査・診断・義歯の設計を学ぶ。 ・ 個人トレーの具備条件について学ぶ。
第13回 7月17日 伊藤 智加	2. 印象採得 5) 精密印象 6) 作業用模型 3. 咬合採得-1 1) 目的と意義 2) 咬合床 3) 仮想咬合平面の設定 4) 垂直的顎間関係の設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 精密印象採得の材料および方法について学ぶ。 ・ 作業用模型の製作法，目的・意義，緩衝法，後堤法およびブロックアウトについて学ぶ。 ・ 無歯顎者の顎間関係の設定について学ぶ。 ・ 咬合床の具備条件を基礎床と咬合堤について学ぶ。 ・ 審美性回復，下顎運動との調和，人工歯排列，咬合平衡の観点から仮想咬合平面の設定および垂直的顎間関係の設定を学ぶ。
第14回 7月24日 伊藤 智加	3. 咬合採得-2 5) 水平的顎間関係の設定 4. フェイスボウ 5. 咬合器 6. 総義歯の咬合 7. 人工歯選択	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水平的顎間関係の設定を下顎運動と関連して設定する方法を学ぶ。 ・ フェイスボウの構造と種類を学ぶ。 ・ 咬合器の種類と役割について学ぶ。 ・ 咬合様式について学ぶ。 ・ 人工歯の種類を理解し，目的とする咬合様式や顎堤形態に合致した人工歯選択について審美的な点もふまえて学ぶ。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第15回 8月28日 伊藤 智加	8. 人工歯排列 9. 歯肉形成 10. 蠟義歯試適 11. 埋没, 重合 12. 咬合器再付着, 咬合調整 13. 研磨 14. 装着 15. アフターケア 16. 特殊な総義歯	<ul style="list-style-type: none"> • 人工歯排列の理論と術式を学ぶ。 • 歯肉形成が審美的, 機能的および衛生的条件を満たす必要性和その意義を学ぶ。 • 審美性回復, 構音機能, 咬合関係などの役割を学ぶ。 • 研磨の重要性を学ぶ。 • 装着時の調整, 患者指導について学ぶ。 • 定期診査の如何が義歯の予後を左右することを学ぶ。 • 金属床義歯, 暫間義歯, 治療用義歯, 即時義歯, オーバーデンチャー, インプラント義歯, 顎義歯について学ぶ。